

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
14102004	宇宙初期における時空と物質の進化	佐藤 勝彦（東京大学・大学院理学系研究科・教授）	A
<p>宇宙初期の理論モデルとしてインフレーション宇宙モデルが宇宙背景輻射の観測などから支持されているが、素粒子理論との関係では、超ひも理論で示唆される多次元宇宙とどのように関連しているのか、バリオン数生成やニュートリノ質量の起源との関係など、明らかにされるべき問題が山積している。</p> <p>この研究課題では、これらの広い範囲の研究者を組織し、宇宙初期の理論の構築、さらには宇宙初期観測による理論の検証を目指して幅広く研究が展開されており、数多くの成果を得ている。素粒子理論の研究成果と宇宙観測実験量との比較を行い、論理的に許されるパラメータ領域を明らかにしたことは、高く評価できる。</p>			